

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1185））

2. 日時：平成30年8月9日 18時00分～18時03分

3. 場所：原子力規制庁 8階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

矢野審査チーム員、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 プラント管理グループ 主任

5. 要旨

（1）日本原子力発電株式会社から、平成26年5月20日に申請、平成29年1月24日及び平成30年2月13日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。

（2）原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。

（3）日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・表 被ばく評価における生体遮蔽の使用状況と被ばく評価の記載資料
- ・重大事故等時における格納容器圧力逃がし装置格納槽の遮蔽の熱除去の評価について
- ・V-4-2-2 緊急時対策所の遮蔽装置の放射線の遮蔽及び熱除去についての計算書
- ・V-1-9-3-2 緊急時対策所の居住性に関する説明書
- ・V-4-2-1 中央制御室の生体遮蔽装置の放射線の遮蔽及び熱除去についての計算書
- ・日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置（本文）
- ・日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 放射線管理施設のうち生体遮蔽装置（添付書類）
- ・V-1-1-6-別添4 ブローアウトパネル関連設備の設計方針
- ・V-2-11-2-10 海水ポンプエリア竜巻防護対策施設の耐震性についての計算書
- ・V-3-5-6-1-3 管の基本板厚計算書
- ・工事計画に係る補足説明資料 その他発電用原子炉の附属施設のうち 補足-330-1【緊急時対策所の居住性に関する補足説明資料緊急時対策所の居住性について】
- ・工事計画に係る補足説明資料 補足-340-11 竜巻防護設備関連の耐震評価について